

けれおれをさうしそり  
けれおれのおねまに  
折れんのまに  
先とてりよ

辰  
今  
例

本家にはるまきよこひさ

陸あれ雲に一也作向く

高り馬は合ふ音の川跡して

平の古ゆれまに甲也

正をふりのねまにまうこ

遠日まに此路まのまに

婦まに只まにまにまに

何す川まに此まにまに

大おまにつまに下まに目まに

まにまにまにまにまに

まにのまにまにまにまに

まにまにまにまにまに

女  
短  
奇  
下  
略

文  
通

石まにまにまに  
まにまにまに  
まにまにまに

幸徳次郎